

震災直後から寄り合って暮しはじめた人びとが、失われた地に
「新しいコミュニティ」をつくりだすプロセスを見つめる
長篇ドキュメンタリー映画

まだ見ぬまちへ

石巻・小さなコミュニティの物語

震災前のこの地域にはどんな暮らしがあったのか。住民が語る“わがまち”の記憶。



監督：青池憲司



映画とトーク／震災後の暮らしがつくるコミュニティのかたち

- 5月25日(金) **第1回** 15:00上映(14:45開場) 17:30トーク(40分)
真野洋介(東京工業大学環境・社会理工学院 准教授) + 青池憲司
- 第2回** 19:00上映(18:45開場) 21:25トーク(20分) 参加者 + 青池憲司
- 5月26日(土) **第1回** 15:00上映(14:45開場) 17:30トーク(40分)
猪熊弘子(ジャーナリスト) + 青池憲司
- 第2回** 19:00上映(18:45開場) 21:25トーク(20分) 参加者 + 青池憲司
- 5月27日(日) 14:45上映(14:30開場) 17:15トーク(20分) 参加者 + 青池憲司

シネマハウス大塚

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨4-7-4-101
(折戸通り 都立文京高校正門前)
TEL.03-5972-4130
JR山手線「大塚駅」北口から徒歩7分、
都電荒川線「巢鴨新田駅」より徒歩3分

【料金】 一般:1,500円 学生:1,000円
高校生以下:500円



【主催／お問い合わせ】 映画「まだ見ぬまちへ」の会
Eメール:aobeka2@kfy.biglobe.ne.jp 電話:090-4023-5822

地震と津波で壊滅的な被害を受けた石巻市門脇・南浜地区の人とコミュニティの再生 —— 6年半の軌跡



この映画は、地震と津波で壊滅的な被害を受けた、宮城県石巻市門脇・南浜・雲雀野地区の「人とコミュニティの再生」を6年半にわたって記録した作品です。

映画は人びとの、コミュニティづくりのプロセスを見つめます。居住環境が整わない地域の暮らしをどう生きるか？ 高齢者のケアは？ 新しい住民とのコミュニケーションは？ かたちが見えてきたまちへの期待と不安？

映画は、3月11日以前の地域の姿もみつめます。震災前のこのまちにはどんな暮らしがあったのか。住民が紡ぐ“わがまち”の記憶。

本作品は、一被災地の非常時のコミュニティ活動の記録であるとともに、そのテーマは、ふだんの地域社会づくりに通じる普遍性をもっています。

門脇町・南浜町・雲雀野町について

東日本大震災以前の3町は、住宅、商店、小学校、保育所、事業所、病院などが混在するエリアでした。世帯数1772、人口4423人。津波で356人が亡くなり、142人が行方不明です。家屋の大破をまぬがれたのは10世帯のみ。門脇町2丁目～5丁目は土地区画整理事業で「新門脇地区」になります。事業面積23.7ヘクタールの区域に250戸分の宅地が整備され、復興公営住宅151戸と合わせて401世帯、人口1070人が想定されています。南浜町と雲雀野町は居住不可地区となり「石巻南浜津波復興祈念公園」が造られます。地区の東西を走る八間道路は幅37.5m、高さ3.5mの高盛土道路になり、その北側が新門脇地区、南側が復興祈念公園です。



『まだ見ぬまちへ～石巻・小さなコミュニティの物語～』

(上映時間145分 Blu-ray/DVD)

製作：映画「まだ見ぬまちへ」の会／青池組

編集／構成＝村本勝 撮影＝一之瀬正史

整音／録音＝黄永昌 音楽＝原公一郎

撮影／録音＝山田武典 広報＝金原雅彦

語り＝黒田福美 監督／製作＝青池憲司

E-mail : aobeka2@kfy.biglobe.ne.jp

公式サイト : <https://aoikegumi.shinsaihatu.com/madaminumachie/>

Facebook : <http://www.facebook.com/aoikegumi>

製作協力：いしのまき 記録映画づくりを応援する会

公式サイト <https://www.ishinomakieiga-ouen.com/>